

おおむた 市議会だより

第200号

平成28年度
2月・3月議会

平成29年(2017年)5月1日発行



特別市民へ登録、おおむたわくわく隊長に
任命された「ジャーフ」



大牟田市議会 ジャーフ 議会 (平成29年4月14日)

【主な記事】

●新年度予算、多種多様な議論・要望／ぎかいの話題(2、3ページ)

●「食のまち おおむた」を大いにアピール／おおむた自慢(14ページ)

ぎかいの話題

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会（田中正繁委員長、森田義孝副委員長）を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月14日から22日までの実質6日間で審

査を行いました。

委員会では、市制100周年記念事業に関すること、防犯灯及び街路灯への補助に関すること、ごみ処理基本計画の策定に関することなど、多種

多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果を委員長報告書にまとめ、3月27日の本会議ですべての予算議案及び条例議案を可決しました。

平成29年度各会計予算の概要（1万円未満四捨五入）

区 分		予 算 額	対前年比 当 初 比
一般会計		548億4,000万円	△2.0%
特 別 会 計	国民健康保険	185億8,353万円	1.7%
	介護保険	131億8,892万円	△0.2%
	後期高齢者医療	21億1,561万円	4.8%
	病院事業債管理	10億5,123万円	△14.6%
	水道事業	※ 1 40億4,060万円	△3.5%
	公共下水道事業	※ 2 68億7,195万円	4.0%

※ 1 収益的支出
26億8,074万円
資本的支出
13億5,986万円

※ 2 収益的支出
32億 796万円
資本的支出
36億6,399万円

予算特別委員会の主な意見・要望

全会派及び無所属委員全員による積極的な賛同により、議会の合意形成が図られた意見要望

1 学童保育の充実（要旨）

- ・ 現在生じている待機児童の解消など当面の課題への対応を急ぐこと。
- ・ 開所時間の延長、夏休み期間中の利用拡大を図ること。
- ・ 次期アンケート実施時は、市民ニーズを的確に把握するため、対象を広げ、調査内容も十分精査を行った上で実施すること。

2 特別支援教育支援員活用事業の充実

障害のある児童生徒に応じた教育環境のさらなる充実に向け、支援員配置の強化、及び勤務時間制限の見直しなど改善に努められたい。

その他の意見要望

◆ ほっと安心奨学金制度

就学が困難な子供の実態を把握し、早期の事業化を図られたい。

◆ 生活困窮者自立支援事業

庁内外との連携を強め、対象者を救済し、一人でも多くの方が就労し自立できるように取り組まれたい。

◆ 訪問販売トラブル

本市でも相談が増加傾向にあるので、他自治体の取り組みも参考にして、問題の解決に努められたい。

◆ 空き家対策

危険な空き家が多数あるので、適正管理に関する条例を適用し、効果的な環境整備に努められたい。

◆ 市営住宅の管理

小規模事業者が修繕をする際には、敷地内に駐車できるように配慮されたい。

◆ 小型廃家電の回収

東京オリンピックの組織委員会が都市鉱山からメダルを製作する取り組みを活用した小型廃家電のリサイクル推進を図られたい。

◆ 若者の人口流出防止対策

地元企業の紹介や雇用情報等を充実させ、家族との協議の場が得られるような工夫をされたい。

◆ 健康いきいきマイレージ事業

コンサルタント委託に頼らず関係者等の意見・要望も反映して事業協力店の増加に努め、市民への周知も図られたい。

災害時における要配慮者への対応についての 意見・要望に対する要望と回答

平成28年8月に実施した議会報告会及び9月の決算特別委員会で議員全員の賛同により合意形成を図った意見・要望に対して、市長からの回答がありました。

また、回答を踏まえ、政策等調整委員会において今後の対応について議論しました。

【要望】（要約）

災害時における要配慮者への

対応については、要配慮者名簿の作成と、関係団体等とも協議して、実態に即した実効性のある仕組みづくりに取り組まれない。

【回答】（要約）

「災害時等要援護者支援制度（ご近所支え合いネット）」の名簿と、「避難行動要支援者名簿」のデータ統合を平成29年度上半期までに終える予定です。

名簿の一本化にあたっては、日頃から地域で要配慮者に深く関わられている民生委員・児童委員や専門機関等とも協議しながら、取り組んでいきたいと考えています。

【政策等調整委員会の議論】

要望に対して着実に進捗していることから、継続して推移を見守ることで意見がまとまりました。

まちづくり・活性化特別委員会で 合意形成を図った意見・要望に対する要望と回答（要約）

① 子育て支援の方策

【要望】

- ・保育料等の保護者の負担軽減の継続を。
- ・保育士の確保のため、国・県へ処遇改善を求める要望と本市独自の支援策の検討をされたい。

【回答】

- ・28年度は、国の基準と比較して、保育料を保育所では約30%、認定こども園・幼稚園では約18%軽減しており、今後も、保護者負担の軽減に取り組んでいく。

② 子どもの医療制度の拡充策

【要望】

- ・病後児保育事業を堅持し、病児保育事業も取り組まれない。
- ・小児科の平日夜間診療や休日当番医制度の安定運営を。

【回答】

- ・病後児保育事業を実施する医院に施設整備経費の一部を支援する予算を計上している。
- ・病児保育事業については、小児科医不足等により、新たな実施は厳しい状況にある。

③ 出合いのサポートに関する施策

【要望】

- ・総合政策的視点で、市当局の所管の見直しも含め、まちづくりの観点から推進されたい。

【回答】

- ・今後も、関係部局、有明圏域定住自立圏各市や関係団体などと連携を強化しながら、施策を効果的に展開していく。

④ 学童保育所・クラブ

【要望】

- ・学童保育所・クラブに特化したニーズ調査の実施をされたい。
- ・利用時間の延長や長期休業時の利用に関する意向など、調査項目の精査をされたい。

【回答】

- ・民設民営学童保育所への補助等を大牟田市まちづくり総合プランのアクションプログラムに盛り込んだ。
- ・今後、利用者アンケートの集計や分析を行い、保護者のニーズを把握し、検討を進めたい。また、保護者のニーズと学童運営関係者との連携、協力を踏ま

え、検討を行っていききたい。

⑤ 地域包括支援センター

【要望】

- ・体制強化を図る上でも恒常的な人員確保が求められていると思われることから、さらなる人員の増員を行われたい。

【回答】

- ・次期介護保険事業計画策定の中で、センターの執行体制のあり方について検討を行っていく。

⑥ 健康いきいきマイレージ事業

【要望】

- ・事業内容の充実に努め、事業協力者の賛同も広く得ながら、成果に結びつく魅力ある事業として、長く継続できるような取り組みの推進をされたい。

【回答】

- ・一定の条件を満たした民間事業所等が実施する健康づくり関連事業のポイント対象事業への登録や、自ら健康づくりを行っている取り組みに対してもポイントを付与するなど、魅力ある事業へとつなげたい。

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■ 平成29年度大牟田市 一般会計予算などを可決

2月・3月議会

平成28年度2月・3月議会は、2月27日に招集され、3月27日までの29日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、一般世帯のくみ取り便槽に係るし尿処理手数料を改定する条例案などの議案34件、人権擁護委員候補者の推薦の諮問2件、意見書案の発議5件、報告3件の計44件でした。

本会議では、平成29年度予算編成の考え方、RDF発電事業についてなどの諸課題に12人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、新年度各会計予算や条例議案、報告の21件は、予算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議2件を除いた議案、発議、諮問をそれぞれ可決、同意、異議なき旨を答申して本会議を閉会しました。

議会日誌（1月～3月）

- 【1月】 17日 議会報編集委員会
27日 各派代表者会、議会運営委員会、総務委員会
- 【2月】 9日 各派代表者会
16日 全員協議会
17日 議会改革特別委員会
20日 各派代表者会、議会運営委員会
22日 市民教育厚生委員会
23日 総務委員会
24日 まちづくり・活性化特別委員会、都市環境経済委員会
27日 第4回定例会本会議〔開会、補正・新年度関係議案上程〕
政策等調整委員会、議会報編集委員会
- 【3月】 6日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
7日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
8日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
9日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕、議会運営委員会、予算特別委員会
10日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
14日 各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔補正関係議案採決〕、予算特別委員会
15日 予算特別委員会
16日 予算特別委員会
17日 予算特別委員会
21日 予算特別委員会
22日 予算特別委員会、請願等調整委員会、起草委員会
23日 起草委員会
24日 起草委員会
27日 起草委員会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔新年度関係議案採決、閉会〕、議会報編集委員会

行政視察受入（1月～3月）

月	日	都道府県	団体名	視察項目
1	16	福岡県	うきは市議会	認知症予防及び見守り対策に関する取り組み
	20	島根県	浜田市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	23	大阪府	豊中市議会	認知症のケア、地域での見守り体制等
	24	大分県	中津市議会	テクノパークにおける企業誘致
	26	兵庫県	川西市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	30	岐阜県	多治見市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	31	三重県	津市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
2	2	三重県	名張市議会	中学校給食
	8	千葉県	野田市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	9	兵庫県	三木市議会	公共施設等総合管理計画
3	10	佐賀県	みやき町	認知症になっても安心して暮らせる市民協働によるネットワークづくり
	28	千葉県	浦安市議会	・地域包括ケアの現地視察 ・住宅と福祉の連携による地域包括ケアの推進
	29		市川市議会 鎌ヶ谷市議会	

委員会メモ

東京大学高齢社会総合 研究機構との包括協定

【総務委員会】

1月27日の委員会で、本市及び東京大学高齢社会総合研究機構が相互の協力により、本市の発展と日本の学術の発展に寄与することを目的とした包括協定を締結する旨の説明を受けました。今後、地域包括ケアシステムの構築を念頭に置いた研究等を共同で進めることとなります。

子育てに関する 利用者支援事業の実施

【市民教育厚生委員会】

2月22日の委員会で、同事業を4月から本格実施する旨の報告を受けました。

子ども育成課の窓口専任の支援員が配置され、保護者等が教育・保育施設・子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、情報提供や手続きを支援します。

総合的な公共交通網の構築

【都市環境経済委員会】

2月24日の委員会で、大牟田市地域公共交通網形成計画を策定する旨の説明を受けました。

この計画は、将来的に持続可能な公共交通網の確保・維持を図るため、新たに策定するものであり、計画期間は平成30年度からの5年間です。

議会改革特別委員会の 今後のあり方

【議会改革特別委員会】

2月17日の委員会で、本特別委員会の今後のあり方等を協議しました。

今後は、議会改革・活性化及び広報・広聴機能をより一層高めるため、本特別委員会を発展的に解消し、委員会構成を再編し、スタートする予定です。

総合計画に掲げるまちづくり

【まちづくり・活性化特別委員会】

2月24日の委員会で、全委員の合意形成を図ったまちづくり総合プランに係る6項目の意見・要望に対する回答について、関係課（保健福祉部）から説明を受け、委員間でも議論を深めました。

今後とも引き続きまちづくりに資するための取り組みについて議論を行っていきます。

議案等の審議結果

議 員 名 議 案 等 名		自由民主党議員団							公明党議員団				社民・民進・護憲 クラブ				日本共産党 議員団			無所属				賛 成 数	審 議 結 果			
		徳永春男	今泉裕人	境公司(議長)	田中正繁	光田茂	森竜子	山口雅夫	大野哲也	今村智津子	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	橋積和雄	北岡あや	高口講治	島野知洋	城後徳太郎			塚本二作	中原誠悟	森遵
発議第26号	玄海原発の再稼働は行わないことを求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	8	少数否決
発議第27号	テロ等組織犯罪準備罪いわゆる共謀罪の創設に反対する意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	8	少数否決
議案第77号	平成29年度大牟田市一般会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第78号	平成29年度大牟田市国民健康保険特別会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第79号	平成29年度大牟田市介護保険特別会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第80号	平成29年度大牟田市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第82号	平成29年度大牟田市水道事業会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第83号	平成29年度大牟田市公共下水道事業会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第84号	大牟田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第85号	大牟田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第92号	大牟田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で可決、同意、異議なし。

- 議案第 67 号 平成28年度大牟田市一般会計補正予算
- 議案第 68 号 平成28年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
- 議案第 69 号 平成28年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
- 議案第 70 号 平成28年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
- 議案第 71 号 平成28年度大牟田市病院事業債管理特別会計補正予算
- 議案第 72 号 平成28年度大牟田市水道事業会計補正予算
- 議案第 73 号 平成28年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
- 議案第 74 号 大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 75 号 大牟田市大規模集客施設制限地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 76 号 財産の処分について（養護老人ホーム吉野園用地）
- 議案第 81 号 平成29年度大牟田市病院事業債管理特別会計予算
- 議案第 86 号 大牟田市職員の勤務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 87 号 大牟田市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 88 号 大牟田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 89 号 大牟田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 90 号 大牟田市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 91 号 大牟田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 93 号 大牟田市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 94 号 大牟田市企業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 95 号 大牟田市教育委員会委員の任命について〔本山清美氏〕
- 議案第 96 号 大牟田市教育委員会委員の任命について〔嶋田桂子氏〕
- 議案第 97 号 大牟田市公平委員会委員の選任について〔古賀裕基氏〕
- 議案第 98 号 大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔平橋幸生氏〕
- 議案第 99 号 大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔竹本安伸氏〕
- 議案第 100号 大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔宮崎詠理子氏〕
- 諮問第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦について〔高松雅明氏〕
- 諮問第 2 号 人権擁護委員候補者の推薦について〔境元弘氏〕
- 発議第 28 号 無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書案
- 発議第 29 号 指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書案
- 発議第 30 号 海洋ごみの処理推進を求める意見書案

代表質問

未来を担う子どもたちへ自信と誇りを持ってバトンタッチを

子どもたちのために
さらなる教育費の充実を

問 市制100周年で新たなスタートを切る29年度予算編成に対し、中尾市長はどのような施政方針で臨むのか。

答 歳入面において一層厳しい状況となったが人口減少を抑制するため、子育て支援、教育の充実、産業の多様化と雇用の確保の三つの大きな柱を中心に事業の検討を進めた。さらに災害への対応など市民の安心・安全の観点も踏まえ、多くの新規・拡充事業に取り組むこととしている。

加えて100周年という節目にあわせ、本市の魅力を全国へ発信し、移住・定住や交流人口の増加を図っていきたい。



問 本市で子どもを産み育てたいと思う環境づくりが大切。教育費の割合が6.9%と前

年度の7.7%に比べ減少している現状をどう捉えているのか。

答 エアコン整備などの差が比率的には一番大きな要因。教育の内容

容や質を重視すべきと思う。

再発言 厳しい財政状況は理解しているが、未来を担う子どもたちのためにさらなる教育費の充実を要望する。

保育士の確保支援や
学童保育所クラブ拡充

問 保育士の確保については、本市独自の支援策の検討が必要ではないか。

答 保育士の確保は課題と捉えており、国の処遇改善の動きを注視するとともに、関係機関と連携し取り組んでいく。

問 学童保育所・クラブの潜在的な待機児童の解消も含め、的確な実情や市民ニーズを把握するため、利用時間の延長や長期休業等の利用に関する意向も含めたニーズ調査の実施を再三求めているが、29年度にも計画されていない理由を聞きたい。

答 既に発生している待機児童の解消を図ることが第一と考え、民設民営学童保育所への補助を盛り込んだ。

利用時間延長等は、利用者に対する調査を行っており、集約や分析を行いニーズを細かく把握したい。

ニーズ調査は、次の子ども・子育て支援事業計画策定前の30年度に実施したいと考える。

問 隠れた待機児童に目を背けてはならない。現実を把握するためにもニーズ調査を実施すべきと思うが、子育て支援の拡充と仕事と生活の両立の推進を掲げている市長の考えを聞きたい。

答 29年度にまずは待機児童の解消を目指し、一步を踏み出した。子育て支援は努力しなければならないが、どこまで財政的な負担に耐えられるか総合的に考えねばならないと思う。

いきいき健康マイレージ
事業で健康寿命の延伸

問 アクションプログラムで毎年、550万円計上され、このうち500万円がコンサルタントへの委託料。事業者や市民の理解を得るためにも職員自ら汗をかき意見や要望を反映させるべきと思うが、行政の役割をどう果たすのか。

答 財源の問題もあるので、ずっとコンサルということではなく、全市的な取り組みに広げていきたい。

役割としては、市民一人一人が健康に取り組みやすいきっかけづくりと消費喚起のために事業者や企業に参画いただく取り組みであると考えている。

市民ニーズや商工業者のニーズをしっかりと把握しながら継続できるような息の長い事業としていきたい。

今後の100年を見据えたまちづくり



未来の大牟田への思い

問 今後の100年を見据えたまちづくりへの市長の思いを聞きたい。

答 未来を担う子供たちがふるさとへの愛着と誇りを高め、また、多くの方々が大牟田に住みたい、訪れたいと思うまちづくりに向けて誠心誠意取り組む。子供を産み育てたいと思ってもらえる環境づくりと教育の充実や産業の多様化と雇用の確保に重点を置く。

子育て支援の推進

問 平成30年度設置を目指す(仮称)子育て世代包括支援センターの進捗状況を聞きたい。

答 他都市の情報の収集や既存の母子保健事業の拡充を含め検討を行っているが、場所の確保、助産師等の専門職の確保、特に重要となる産前産後のサポート、産後ケアの充実に向けた事業の構築が課題と認識している。

再発言 (仮称)子育て世代包括支援センター事業は、市長が言われる子供を産み育てた

いと思ってももらえるような環境づくりの基本である。

29年度に産前産後のケアの課題を解決することにより、新たに来年度の国の補助メニューを受けることができるよう、今後も未来を見据えた取り組みを進めてほしい。

市民との協働に取り組む職員の意識改革

問 市民とともに事業を進めるに当たり、思いや目的を一つにするための職員の姿勢や情報共有のあり方を聞きたい。

答 職員には、市民の思いをしっかり受けとめ、どうすればその思いを施策に反映できるかを考え、それを市民にフィードバックして市民としっかりした対話をしてほしいと考えている。

移住・定住の促進

問 アクションプログラムに掲げられている「お試し居住」の取り組みの内容を聞きたい。

答 東京にある福岡県の移住相談窓口では、体験居住を希望する人が増えており、空き家の貸し出しやツアー方式などがある。本市でも早ければ今年の夏ごろから実施したい。

再発言 空き家の活用ということでは、現在、大牟田に多くある空き家を活用できるの

でよい取り組みだと思う。

大牟田に合ったお試し居住の取り組みの構築を要望する。

問 2月に会派で東京有楽町にあるふるさと回帰支援センターを視察し、相談員の方々との意見交換で大牟田市のイメージアップを図る重要性を実感した。その方策について聞きたい。

答 シティプロモーション総合戦略の中にもイメージアップの考え方や取り組みを検討し、載せていきたい。

再発言 満を持して発表された公式キャラクターのジャーフは、シティプロモーションを進める上で目玉となり、子供たちにも夢のある公式キャラクターの誕生である。その有効な活用を要望する。



防災士の育成

問 防災活動には、男女双方の視点が不可欠である。防災士育成講座の取り組みでも女性の一定割合の選出が必要と考えるが、見解を聞きたい。

答 各校区から防災士の資格取得に2名から3名の方を推薦いただく際は、極力女性の資格取得にも配慮した推薦をお願いしたいと考えている。

代表質問

大型公共事業の推進と財政計画との整合性は



過去を振り返っての現状認識

問 市の財政が厳しくなる中、三池炭鉱の閉山以降の厳しかった当時と比べた、今の財政状況の認識を聞きたい。

答 扶助費を除く費用は、当時と比べ大幅に圧縮しており、ある意味余裕がなくなっている。人口減少、高齢化が一層進展し、市税の減少、社会保障費が増加しており、財政的により厳しい状況にある。

今後のまちづくりと
財政見通し

問 今後、大型事業が計画される中、財政計画との整合性は。

答 現時点での財政計画から考えると、既に選択している事業であっても、新たに事業選択をする場合、中止、先送りの判断も必要と考える。

今後のRDF発電事業と
ごみ処理方法

問 平成34年度末で終了するRDF発電事業について、県に負担軽減と新たな地域振興支援などを要望されたが、市

長の感想を聞きたい。

答 要望内容を真摯に受け止めていただいたと考えており、今後も県内の4組合2町と連携を図りながら、

要望事項の確実な実施を県に求めている。

問 平成35年度以降のごみ処理方法については、新施設を建設する案と、今のRDFセンターを5年以上継続使用した後で新施設を建設する案を検討中だが、今後のスケジュールを聞きたい。

答 大牟田、荒尾の両市議会で検討していただき、早い時期に大牟田・荒尾清掃施設組合議会の全員協議会の開催をお願いしたいと考えている。

公共施設の利活用に関
する方針案

問 公共施設を売却、縮小、解体するのにも巨額の資金が必要と思うが。

答 施設に合った解体方法などを検討し、金額も大きいいため、計画的に進める必要がある。

問 勝立地区公民館については、当面は施設の耐震化を行

い継続使用するとあるが、地域の方と意見交換後の感想は。

答 29年度に耐震調査を行うことについての理解は一定いただいていると考えている。

今後、改修等についても説明し、理解を求めている。

再発言 地域の意見を十分聞いた上で、勝立中学校の跡地を地区公民館として使用することも検討してもらいたい。

交通問題

問 29年度策定予定の大牟田市地域公共交通網形成計画について聞きたい。

答 市内や周辺地域で途切れることのない公共交通網の確保・向上を目指した基本の方針であり、目標や事業などを位置づけることとしている。

問 運転免許保持者の高齢化が進む本市は、自主返納者に対して手厚い支援が必要だと思う。高齢者運転免許証自主返納促進事業の考えを聞きたい。

答 自主返納の促進を図るため、今後も庁内の関係部局、警察、民間事業者と連携しながら取り組んでいきたい。

公共工事の入札不調

問 公共工事の入札不調のため、市民生活に影響を及ぼすこともある。入札不調の現状と今後の対策は。

答 入札不調は増加傾向にあり、発注時期を分散させ、平準化を図り、取り組んでいく。

住民福祉を増進し地域を元気にする新年度予算に



日本共産党議員団
橋積 和雄 議員

安倍政権の評価と 市民生活の現状は

問 医療・介護・年金など社会保障の改悪に市民から悲痛な声が出ている。市民生活の現状をどう見ているか。

答 国全体は厳しい状況にある一方、市民生活は一定の回復の兆しがあると見ている。

再発言 貧困と格差が広がり、本市の生活保護率は、全国、全県平均を大きく上回るなど厳しい状況にある。国へ社会保障の拡充を求めよ。

新年度予算（案）

問 新年度予算には、国の悪政から市民生活を守り、支える立場が必要だと考えるが。

答 子育て支援、教育の充実、産業の多様化と雇用の確保を中心に住民福祉の増進を図る。

問 快適住マイル改修事業予算が半減された理由は。

答 建設関係の課題などを踏まえ、特定の業種に対応した事業予算として見直した。

再発言 昨年の実績を見ても需要はある。地元業者からの要望もあっている。地域経済

の活性化策として予算の復活を求める。

問 し尿処理手数料引き上げの理由は。

答 負担の公平性の確保、経費の市民負担率などから

検証し改定を行うこととした。

再発言 25%の値上げは二人世帯で年平均5,280円の負担増になる。低所得者、生活保護世帯への軽減制度を求める。

ごみ減量化の取り組みを

問 次期ごみ処理方式の検討については、ごみ減量対策を真剣に検討し、ごみ減量を正面から住民に訴え、ごみの総排出量を大幅に減らす努力をすべき。その上で住民の協力を得ながら、身の丈にあった施設整備をすべきだと思うが、見解を聞きたい。

答 分別と3Rの徹底や生ごみの水切りなどの啓発、堆肥化の推進などにより、ごみの減量化を図っていく。

問 大木町、みやま市などごみ減量化、資源化で成果を上げている自治体の取り組みも学ぶべきだと思うがどうか。

答 よい事例等を勉強して減量化に取り組んでいきたい。

RDF発電事業の終了と 今後の対応

問 県知事へ提出した要望書の内容と今後の対応は。

答 出資金等のRDF発電所解体費への充当、今後の事業全般への支援などである。

再発言 発電施設の解体撤去など、終了に必要な費用は、事業終了による最終的な利益も充てるべきである。

問 RDF発電事業全般の評価と総括が必要ではないか。

答 初期には施設のトラブルやRDF処理委託料の値上げなどがあったが、現在は安定的に運営が行われている。

問 県への要望書には「本事業は、ごみ処理費用としては最もコストのかかるシステムとして参画した地方公共団体の重い負担となってきた」などと書いてある。市長の考えもそうか。

答 当初は、新たな処理方法で一定程度のトラブルは避けられなかった。結果的に高くなったという指摘は受ける必要があると思う。

再発言 RDF発電事業は、安全面、経済面、そしてごみ減量の面からも重大な問題があった。ごみ処理費用としては、事実の問題として自治体の重い負担になった。事業の全体総括を行うよう求める。

缶・びん・ペットボトル



一般質問



自由民主党議員団
山口 雅夫 議員

救急救命の現状について

問 救急出動が急増している状況から、救急車の適正利用、応急手当に関する知識及び防災知識の向上のため、消防本

部と都市整備部でまとめた冊子を作成してはどうか。

答 防災ガイドブックは、掲載内容の見直しが必要な時期と考える。今後、議員提案の応急手当等の情報をあわせたガイドブックを、消防本部と連携し、検討していきたい。

実効性のある
予防事業について

問 地域のフレイル（身体機能や活動が低下した虚弱な状態）予防事業の実施について昨年、医師会より提案された

と思うが現在の進捗状況は。

答 市民の健康寿命の延伸や介護予防の観点から重要と認識しており、昨年11月には医師会や帝京大と連携しフレイル予防に関する研修会を開催した。

再発言 化粧をすることが運動・食事・交流の全てにつながり、フレイル予防に有効として、化粧の力を活かした珍しい取り組みもある。

今後は、市の事業として、広く市民に受け入れられるよう調査・研究を要望する。



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

次世代を担う若者への
地元就職支援

問 若者の地元就職支援の取り組み状況について聞きたい。

答 高等学校等の先生方による企業との意見交換会や見学

会を開催。また地元への就職希望者を対象に大牟田地域企業合同面談会を実施した。

平成35年以降のごみ処理方法

問 35年以降のごみ処理方法について考えを伺いたい。

答 RDFセンターを39年度以降まで5年間以上は継続し、その後に新施設を整備したい。

白川ポンプ場整備と
整備区域外の冠水対策

問 白川ポンプ場建設工事の

進捗状況について聞きたい。

答 3月末に請負契約を締結し、その後に詳細設計の予定。工事着手は、地元や関係機関との調整を図り進めていく。工期は32年9月末としている。

問 有明海沿岸道路健老インターチェンジ付近の道路冠水対策の計画は。

答 梅雨時期の大雨と満潮が重なった場合に年に一、二回程度道路が冠水し一時通行止になる状況。29年度に緩和を図る予算を計上した。早い時期での工事完成を目指したい。



社民・民進・護憲クラブ
古庄 和秀 議員

これからのまちづくり

問 子供、高齢、障害、生活困窮などの相談が1カ所で済む総合相談窓口の進捗状況は。

答 昨年6月に子ども未来室

を設置し、結婚・妊娠・出産・子育て支援を一本化した。現在は、高齢・障害・生活困窮者などの相談を可能な限り1カ所で受ける体制を検討中。

再発言 市役所業務に精通した職員と民間の専門職の方が連携しやすい仕組みをつくってもらいたい。

これからの生活排水対策

問 くみ取り料金が値上げされるが、汚水処理についての基本的な考え方を聞きたい。

答 汚水処理構想のもと、下水道整備の進捗とあわせて、くみ取りや単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への切りかえを行い、高度処理に向けた取り組みを推進していきたい。

障害者差別解消法が施行
して1年後の現状と課題

問 市役所内での合理的な配慮について聞きたい。

答 障害者が支援を必要とする場合に、意思を伝えやすいよう、窓口で耳マークの掲示などを行っている。

一般質問



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

労働条件の改善・公共工事の質の確保のため公契約条例を

問 公契約条例*の調査・検討を進めてきた現在の到達は、

答 書類確認の事務量や財政負担が増加することになる。

*公契約条例・・・公共事業の現場で働く労働者に適正な賃金・労働条件を保障する条例

さらに地域経済への波及効果はまだ明らかになっていない。

労働者の賃金向上は国が取り組むべきと考える。

問 建設関係の労働の現場では、後継者不足・高齢化で技術の継承に大きな課題を抱えている。同条例は技術者の市外への流出をくい止め、工事の質を確保する効果がある。また、行革による公務の外部委託が進む中、指定管理者制度や業務委託先の労働者の労働条件を保障するという新たな役割もある。指定管理者制

度において、働く人の賃金や労働条件は把握しているか。

答 人件費の総額は把握しているが、従業員個々の賃金までは把握していない。労働環境は、契約書の中で法の遵守等をうたっており、適切に守られていると承知している。

再発言 1年契約やパートという不安定な雇用形態が多い。それで食べていけるのか、生活していけるのかという視点を持つべき。実態調査を行い、制定に向けた本格的な取り組みを求める。



自由民主党議員団
光田 茂 議員

総合体育館建設基本計画の早期策定

問 総合体育館建設の早期実現を望む市民の声が高まっており、早期の総合体育館建設基本計画の策定と、有利な財

源確保が必要と思うが。

答 厳しい財政状況の中、大きな財源を伴うこと等から、民間資金等の活用や過疎債など財政負担の軽減等を図り、一つ一つ課題を整理し、基本計画等の策定につなげたい。

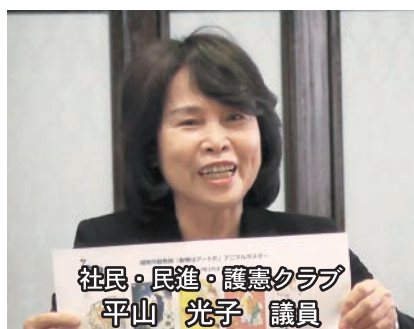
学校再編後の跡地利活用と公共施設の統廃合

問 老朽化が進む勝立地区公民館の対応、また、市の南東部の拠点づくりとして、勝立中跡地はグラウンドを含むスポーツ施設に、旧延命中のグ

ラウンドは早期に整備し動物園の駐車場に有効活用すべきと思うが今後の計画は。

答 空き施設となる見込みの勝立中は、今後検討を進める。

勝立地区公民館は、耐震診断調査後、施設の長寿命化を図り、現行建物を継続利用したい。旧延命中跡地は、宅峰中の部活動等でグラウンド、テニスコート、旧技術室の卓球場を活用し、他は駐車場に利用したい。校舎の一部は暫定的な消防教育訓練施設としての活用を検討したい。



社民・民進・護憲クラブ
平山 光子 議員

大牟田市動物園は市の宝もっと積極的に応援を

問 エンリッチメント2016の大賞を受賞するなど、取り組みが評価され、来園者がふえているが、動物園への思いは、

答 スタッフの愛情や熱意が共感呼び、来場者が増加している。本市の知名度向上やイメージアップに大きく寄与している。

再発言 市制100周年記念事業や世界遺産とあわせてPRしてはどうか。

サポーター制度についても、福岡動物園に学び、内容の充実を検討してほしい。

また、市として、割引切符や、路線バスの迂回、子どもたちへのPRなど様々な努力をしてもらいたい。

特別支援教育支援員配置の時間が短い、予算の確保を

問 配置による効果は。

答 対象の児童生徒が情緒的に安定し、様々な効果がある。周囲の児童生徒や学級の落ち着きにもつながっている。

問 同支援員の勤務時間は。

答 週29時間を上限とし、28年度は週27時間としている。

再発言 十分な支援や意見交換の時間がないという支援員等からの声がある。時間増と予算の確保をお願いしたい。

一般質問



無所属
中原 誠悟 議員

昨年の災害の教訓を生かした防災・減災対策を

問 29年度避難所機能強化事業450万円と通信手段確保の具体的な内容は。

答 避難所と災害対策本部と

の通信を行うPHSの導入、自主避難所へのテレビ設置等に関する費用である。また、視聴覚障害者へのインターネットファクス自動音声ガイダンスシステムの整備も行う。

災害発生時における庁舎の電力確保が重要

問 災害発生時に電力が確保出来ず役所としての機能が果たせなければ市民の不安増大や対応の遅れになると思うが。

答 大きな自家発電装置はないが、小型の備蓄発電機を十

数台整えている。また、建設機材の会社と協定を結び、災害時にはすぐに調達を行う。

三池港を活用した防災訓練の実施

問 重要港湾である三池港は災害時の救援物資の搬入経路でもあり、水難事故も想定されるが、防災訓練実施状況は。

答 25年度に県の総合防災訓練として実施されているほか、海上流出油の除去訓練やテロ対策行動訓練、潜水訓練などが定期的に行われている。



無所属
塚本 三作 議員

市民満足度の高い来年度予算編成

問 地方財政運営の基本原則は。

答 予算編成として合理的な基準により経費を算定し、あ

らゆる資料に基づき、正確に財源を捕捉してその収入を算定し、予算に計上しなければならないとされている。

問 平成15年ごろ、本市が財政破綻の危機に陥った原因とその教訓は。

答 平成9年の三池炭鉱の閉山以降、地域経済の低迷による市税収入の減少や産炭地域振興臨時措置法の失効による財政支援の減少などがあった。財政構造強化指針を策定し、安定的な行財政運営の財政基盤の確立に努めている。

問 来年度予算編成への市長の政治姿勢と目玉施策は。

答 まちづくり総合プランの推進、アクションプログラムの確実な実施に努め、子育て支援、教育の充実、産業の多様化と雇用の確保の三つの柱を中心に事業の検討を進めた。

問 市民ニーズの把握と求められている主要施策は。

答 アンケート調査、パブリックコメント、ワークショップ等で把握し、市民意識調査では、働く場、防犯・防災対策を求める意見が多かった。

公共施設の利活用に関する方針（案）などで全員協議会を開催



29年2月16日 全員協議会

2月16日に、全員協議会を開きました。

全員協議会とは、市政全般にかかわる政策等について、協議

を行うための会議です。

全員協議会では、大牟田市まちづくり総合プランのアクションプログラム（改訂案）について（平成29年度部局の方針案、平成29年度大牟田市学校教育振興事業計画案）及び公共施設の利活用に関する方針（案）について説明を受け、人口減少への対応、財政見通し、地域振興などの観点から議論が交わされました。

インフォメーション

■次の定例会は6月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（平成24年度以降）を視聴できます。

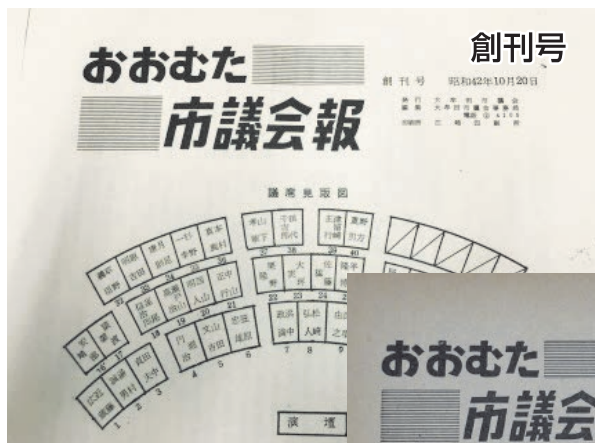
■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。

6月上旬から閲覧できます。ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。



市民の皆様へ感謝、おかげさまで200号記念 ～おおむた市議会報創刊から50年の歩み～



ものと思いますし、ひいては市民に直結する政治になると思います。」とあります。

は手に取ってもらえるように、また、今後も市民に読みやすく親しみやすい市議会だよりとなるよう努力をしていきます。

また、市議会としまして、より積極的に情報発信を行いながら、開かれた議会づくりを推進し、豊かさを実感できるまちの実現を目指していきます。

新たなまちづくりの局面を迎える本市も市制100周年です。

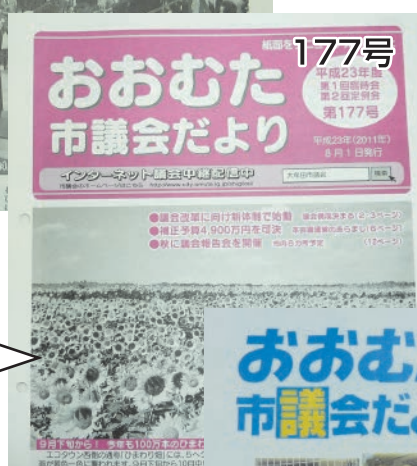
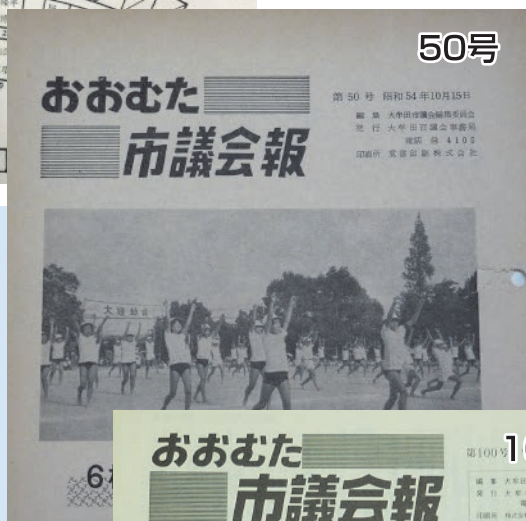
この記念すべき年に大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」もお披露目され、「燃えて100年世界に羽ばたくおおむた」へと向かって市議会一同今後ますます頑張ります。

昭和42年10月20日に大牟田市議会報創刊号を発行し、昭和54年10月に発行50号を迎え、平成4年5月発行で100号、平成16年11月に150号を迎え、今回で200号を迎えます。

創刊号を発行した年は、大牟田市制50周年でした。そして本年、大牟田市が市制100周年を迎える年に市議会だよりは200号という節目を迎えることができ、議会報編集委員会一同大変うれしく思っています。

また、この50年間は本市もさまざまな時代の移り変わりと共に発展を遂げてきました。

議会報創刊に当たっての目的を振り返ると、「議会内の各会派や議員の、その時々の方針にのぞむ考え方、発言のあらましを市民の皆様へ報告するためです。これによって市民皆様からの議会に対するご意見やご批判が一段と高まってくる



この号からカラーにになりました

この号から二色刷りになり「おおむた市議会だより」に名称変更しました

近年、インターネットなどの情報化が進み、情報発信の方法も複雑多様化している中、これからも紙面での情報発信は最も重要な手段の一つとしており、まず



おおむた自慢

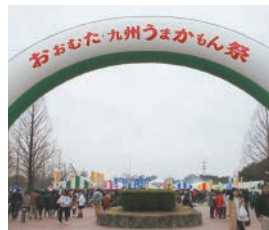


「食のまち おおむた」を大いにアピール

「おおむた・九州うまかもん祭」に約2万5千人が来場



大牟田市制100周年記念事業の目玉企画としての「おおむた・九州うまかもん祭」は、大盛況でした。会場の諏訪公園イベント広場では、九州各地のご当地グルメやイベントをお目当てに、あちらこちらで溢れんばかりの人だかりが広がるほどでした。



地元おおむたの ブースも大人気

九州各地からの自慢のご当地グルメは、大分県中津の唐揚げ、宮崎県のチキン南蛮、玉名や久留米のラーメンなどがあり、それぞれのブースでは長い行列ができていました。

大牟田名物のお好み焼きや洋風かつ丼、草木饅頭やカステラ饅頭、甘辛だんごといった菓子などの郷土が育んだ独自の「食」が人気を集めていました。なかでも、大牟田商工会議所青年部さんが販売した「石炭揚げパン」は、午前中に完売するほど、人気を博していたようです。



楽しみ方いろいろ

大牟田市内の100年企業ブースには、パネル展示のほか体験などもでき、企業をより身近に感じるきっかけになりました。熊本復興支援ブースでは訪れた方から、ボランティアの学生さんに、温かい言葉がかけられている光景が印象的でした。

編集後記

大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」は、すでに子ども達に大人気です。「イベントに来て!」という声も多いようです。明らかに、彼(?)の登場で市制100周年を祝う機運は高まりました。ジャー坊くん、身体に気をつけて、まちの守り神として頑張ってください。(S)

編集 議会報編集委員会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】平嶋慶二

【委員】今泉裕人 大野哲也 島野知洋

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail : e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社野口印刷所